

第6次行財政改革計画（案）に対する パブリック・コメントの結果について

1 意見等募集期間

令和5年6月14日（水）から令和5年7月13日（木）まで

2 提出されたご意見等

持参	郵便	ファクシミリ	電子メール	合計
0件	0件	0件	5件	5件

3 ご意見等及び名古屋港管理組合の考え方

（1）行政手続きの電子申請について

【ご意見等】

電子申請できる行政手続きをさらに増やしていけると良い。

【名古屋港管理組合の考え方】

本組合では、現在入出港届などの8件の港湾行政手続きをデジタル化しておりますが、今後は「名古屋港管理組合 DX 推進計画」で目標としている20件までデジタル化し、利用者等の利便性を高め、行政サービスの向上に取り組んでまいります。

（2）情報セキュリティ対策について

【ご意見等】

DXが進むと、情報資産が膨大になると思う。情報セキュリティ対策の徹底やICTガバナンスの確立について、100%の取組をしてほしい。また、問題が起こらないように部署内でのガバナンスを徹底してほしい。

【名古屋港管理組合の考え方】

本組合では、「名古屋港管理組合情報セキュリティポリシー」を定め、機器、システム、設備などに対する物理的及び技術的な対策や、職員への研修など人的な対策に取り組んでいます。

また、外部委託する際には、同セキュリティポリシーや標準契約書において、守秘義務、情報資産の持ち出し、委託先の情報セキュリティ対策の確認などについて規定しており、その遵守により問題が起こらないよう努めております。

今後も引き続き問題が起こらないようにガバナンスを徹底してまいります。

(3) 人材確保の取組について

【ご意見等】

昨今の少子高齢化の進展に伴い、名古屋港管理組合においても人材確保の課題はより深刻化していくことが考えられるため、戦略的な採用活動などに取り組んでほしい。
また、質の良い人材確保のためには、給与、職場環境など相応の処遇と、利用者や県民・市民に対してもっと見えるような仕事ぶりのアピールも必要なのではないかと。

【名古屋港管理組合の考え方】

職場環境の改善やワーク・ライフ・バランスの推進に取り組むとともに、採用活動については現在、本組合主催の採用説明会を年2回行い、大学や民間企業の説明会に積極的に参加し、本組合の業務内容の紹介を行っています。

今後、少子高齢化により採用が厳しくなっていくと予想されるため、学生のニーズに合わせた取組としてのインターンシップの拡大や、対象学生のターゲットを広げた取組としての複数の大学と提携した名古屋港や本組合のPR活動を行う機会の創出などにより、本組合の魅力をより積極的に発信し、優秀な人材の確保に努めてまいります。

(4) 本計画の進捗管理について

【ご意見等】

計画には、行財政改革のための様々な施策が記載されているが、実施されなければ意味がないので、計画期間の5年間において、それぞれの項目について、しっかり進捗管理が行われるべきである。

【名古屋港管理組合の考え方】

本計画の策定及び推進に当たっては、庁内に専任副管理者を委員長とする「行財政改革推進委員会」、その下に総務部次長を部会長とする「専門部会」を設置し、計画期間中毎年度、進捗を管理し、成果と課題を整理しながら、行財政改革の取組を推進してまいります。

(5) 中期経営計画と行財政改革計画の相違点について

【ご意見等】

中期経営計画と行財政改革計画の相違点を教えて欲しい。

【名古屋港管理組合の考え方】

中期経営計画は、国際産業戦略港湾の実現など本組合の重点施策の推進、具体的な施策や事務事業を体系的に取りまとめたものです。

一方、行財政改革計画は、効果的な経営資源の活用、効率的な組織づくりや持続可能な行財政運営の視点から、安定的かつ持続可能な行財政運営を実現するために必要な取組を取りまとめたものです。

行財政改革の取組によって、限られた経営資源を最大限に有効活用し、合理的・効率的な事務事業の執行や組織運営を図ることで、中期経営計画の着実な推進を下支えし、政策の推進をサポートしてまいります。